

3月
March

使っている花
■ ミモザアカシア、ランキユラス(ラックス アリアドネ)、
豆の花



ミモザ

花言葉 友情／秘めた愛



WEEKEND
FLOWER

ハッピーイエロー！
ミモザあふれる南仏の春をイメージして

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花が少し咲いていて、葉の鮮度が良いものを選びましょう。
- 小さな花をたくさん咲かせるため、水だけではきれいに咲けません。必ず切り花栄養剤を使用してください。
- 乾燥に弱いので、霧吹きをかけるとういでしょう。葉にも吹きかけるのがポイントです。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に水を注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ②ミモザの枝を小分けにし、水に浸かる部分の葉は手でしごくように取り除きます。器の口元から黄色があふれるように活けるといっそう素敵です。
- ③ミモザの中にランキユラスをふんわりと添え、豆の花のラインを活かして流れるようにあしらいます。

幸せを運ぶ黄色の天使

ふわふわの黄色とハチミツのような甘く優しい香りで、春本番を告げる花。3月8日の「国際婦人デー」、イタリアでは男性が身近な女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ることから「ミモザの日」とも。南フランスのミモザ祭りは、街道にミモザが降り注ぐ光のように飾られ、パレードは拍手喝采、街中が黄色に染まるそうです。なんてワンダフル！



ミモザ

花言葉 友情／秘めた愛



WEEKEND
FLOWER

ハッピーイエロー！
ミモザあふれる南仏の春をイメージして

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花が少し咲いていて、葉の鮮度が良いものを選びましょう。
- 小さな花をたくさん咲かせるため、水だけではきれいに咲けません。必ず切り花栄養剤を使用してください。
- 乾燥に弱いので、霧吹きをかけるとういでしょう。葉にも吹きかけるのがポイントです。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に水を注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ②ミモザの枝を小分けにし、水に浸かる部分の葉は手でしごくように取り除きます。器の口元から黄色があふれるように活けるといっそう素敵です。
- ③ミモザの中にランキユラスをふんわりと添え、豆の花のラインを活かして流れるようにあしらいます。

幸せを運ぶ黄色の天使

ふわふわの黄色とハチミツのような甘く優しい香りで、春本番を告げる花。3月8日の「国際婦人デー」、イタリアでは男性が身近な女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ることから「ミモザの日」とも。南フランスのミモザ祭りは、街道にミモザが降り注ぐ光のように飾られ、パレードは拍手喝采、街中が黄色に染まるそうです。なんてワンダフル！



使っている花
■ ミモザアカシア、ランキユラス(ラックス アリアドネ)、
豆の花

3月
March



3月
March

使っている花
■ ミモザアカシア、ランキユラス(ラックス アリアドネ)、
豆の花



ミモザ

花言葉 友情／秘めた愛



WEEKEND
FLOWER

ハッピーイエロー！
ミモザあふれる南仏の春をイメージして

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花が少し咲いていて、葉の鮮度が良いものを選びましょう。
- 小さな花をたくさん咲かせるため、水だけではきれいに咲けません。必ず切り花栄養剤を使用してください。
- 乾燥に弱いので、霧吹きをかけるとういでしょう。葉にも吹きかけるのがポイントです。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に水を注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ②ミモザの枝を小分けにし、水に浸かる部分の葉は手でしごくように取り除きます。器の口元から黄色があふれるように活けるといっそう素敵です。
- ③ミモザの中にランキユラスをふんわりと添え、豆の花のラインを活かして流れるようにあしらいます。

幸せを運ぶ黄色の天使

ふわふわの黄色とハチミツのような甘く優しい香りで、春本番を告げる花。3月8日の「国際婦人デー」、イタリアでは男性が身近な女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ることから「ミモザの日」とも。南フランスのミモザ祭りは、街道にミモザが降り注ぐ光のように飾られ、パレードは拍手喝采、街中が黄色に染まるそうです。なんてワンダフル！



ミモザ

花言葉 友情／秘めた愛



WEEKEND
FLOWER

ハッピーイエロー！
ミモザあふれる南仏の春をイメージして

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花が少し咲いていて、葉の鮮度が良いものを選びましょう。
- 小さな花をたくさん咲かせるため、水だけではきれいに咲けません。必ず切り花栄養剤を使用してください。
- 乾燥に弱いので、霧吹きをかけるとういでしょう。葉にも吹きかけるのがポイントです。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に水を注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ②ミモザの枝を小分けにし、水に浸かる部分の葉は手でしごくように取り除きます。器の口元から黄色があふれるように活けるといっそう素敵です。
- ③ミモザの中にランキユラスをふんわりと添え、豆の花のラインを活かして流れるようにあしらいます。

幸せを運ぶ黄色の天使

ふわふわの黄色とハチミツのような甘く優しい香りで、春本番を告げる花。3月8日の「国際婦人デー」、イタリアでは男性が身近な女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ることから「ミモザの日」とも。南フランスのミモザ祭りは、街道にミモザが降り注ぐ光のように飾られ、パレードは拍手喝采、街中が黄色に染まるそうです。なんてワンダフル！



使っている花
■ ミモザアカシア、ランキユラス(ラックス アリアドネ)、
豆の花

3月
March

